



2020年度 赤い羽根共同募金助成 ありがとうメッセージ集 ～きずなのまちづくり助成事業～



きずなのまちづくり助成事業とは

社会福祉法人登別市社会福祉協議会と共に福祉のまちづくりを積極的に取り組む団体が、市民のための福祉活動計画である登別市地域福祉実践計画「きずな」の趣旨に賛同し、その趣旨に基づいて実施する事業及び活動に対して共同募金の支援を受け助成を行い「きずなのまちづくり」を共に進めることを目的とした事業です。

2020年度については、19団体20事業に対して総額 783,000円を助成金として交付しました。この報告書では、助成金を活用して行った様々な事業の報告と募金寄付者へ向けた感謝のありがとうメッセージを掲載しています。



このメッセージ集は、「赤い羽根共同募金」の支援を受けて発行しています。

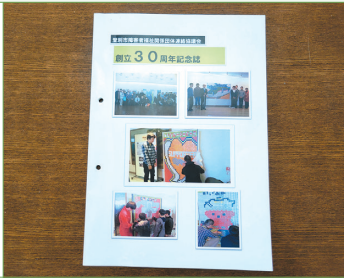
① 市民への福祉に対する関心や意識を高めるための取り組み

- 1 視覚障がい者への理解を深める啓蒙事業**
登別視力障害者協会／46,000円助成

視力障がいについて理解を深めるため障がい当事者自らが日常生活の説明やボランティアと共にガイドヘルプの説明などを行うことにより、深く障がいについて理解してもらうことができました。


- 2 創立30周年記念誌制作・発行を通した障がいについての啓蒙事業**
登別市障害者福祉関係団体連絡協議会／20,000円助成

障がいについて地域に理解していただけるよう、障がい当事者や家族の暮らしなどを掲載した当協議会記念誌を発行し、障がいやこれまでの活動の歩みなどを啓蒙することができました。


- 3 肢体不自由児者への理解と地域参加を図るための交流事業**
登別肢体不自由児者父母の会／30,000円助成

今年度は、野外レクやクリスマス会を制限がある中でしたが開催でき、親同士やボランティアさんが交流しながら障がいを理解できる良い機会となりました。寄付者の皆様ありがとうございました。


- 4 手話講習会開催のための事業**
登別手話の会／40,000円助成

今年度も小学校へ手話の講習会に出向き、子ども達に手話を体験してもらうほか、ボランティア体験として手話体験会を例会時に開催し、手話や聴覚障がいの理解を深める機会となりました。


- 5 知的障がい・発達障がいについての理解を広めるためのリーフレット制作事業**
登別市手をつなぐ育成会／45,000円助成

地域の多くの方々に知的・発達障がいについての理解を深めることを目的としたリーフレットを制作し、障がいのある本人や家族の生活などについて地域へ発信することができました。


- 6 年間を通した手話学習会及び手話フェスティバル実施事業**
登別聴覚障がい者協会／14,000円助成

コロナ禍により手話フェスティバルは中止となりましたが、小学校や手話サークルなどにろうあ者が出向き、直接手話指導を行うことで手話や障がい理解を深めることができました。


- 7 精神障がい者への理解を深める交流事業**
ひまわりサークル／15,000円助成

統合失調症の当事者を中心に、フリーミーティングや社会見学、研修会などを通して、当事者が地域参加していきながら障がい理解を深め合うことができました。


- 8 子ども食堂(かえる食堂)を通した子どもの健全育成・交流事業**
NPO法人ゆめみ〜／50,000円助成

地域食堂を活用した子どもの食事支援や、地域食堂の2階で子どもの学習教室実施、別棟に子どもの運動スペース開設等を設置し、子ども食堂に通う子ども達と交流を深める事業を実施しました。



② 市民が主体的に地域の問題を考え解決していくための取り組み

- 9 犯罪予防をとおして命の大切さを広める事業**
登別更生保護女性会／54,000円助成

市民会館で行われたサークル展で犯罪予防の啓蒙リーフレットを折り込んだポケットティッシュを配るほか、のぼりで行われた市民活動フェスタにて、命の大切さや犯罪予防を呼びかけるパネルを約2週間展示することができました。


- 10 町内会の防災訓練を通した地域住民同士の支え合い推進事業**
登別市連合町内会／100,000円助成

各地区連合町内会で行われる防災意識を高める為の避難訓練や携帯ラジオの使用等を通して、災害時に要支援者を守るため、地域ぐるみで平常時から助け合いの大切さを確認できました。



11 “鬼まつり”キャンドルフェスタによる世代間交流事業

NPO法人ライフサポート／30,000円助成

少子化や独居高齢者が多くなっている地域社会の中で、子どもからお年寄りまで楽しく交流できる場所づくりを目的として、若草中央公園やのぼりにキャンドルを設置して、感染対策を行いながら多世代が交流できる場所づくりができました。



12 地場産の材料を使った健康に役立つ料理教室事業

ボランティア花つなの会／14,000円助成

地域の様々な年代の人々を対象にした料理教室を開催し、食を通して健康を守ることを知っていただくため、地場産の材料を使ったヘルシーレシピで料理を作りながら、参加者同士に楽しんでいただきました。



③福祉サービスの質と量を保障する市民協働のための取り組み

13 施設・地域福祉へのマンドリン訪問演奏事業

コンパニア・デ・マンドリーナ／30,000円助成

コロナ禍で施設訪問ができないためパソコンボランティアプラザ室蘭や社協に協力を得ながらリモートを活用した演奏会を実施しました。今年度はできないと思っていましたが、できる方法を模索して施設利用者さんに喜ばれたことが何よりの喜びです。



14 視力障がい者に対する広報等朗読吹き込み事業

登別朗読ボランティアの会／53,000円助成

今年度は、コロナ禍で予定していた朗読講習会や高齢者施設での朗読交流会はできませんでしたが、市内の視力障がい者に情報が届くよう「広報のぼりべつ」などの広報誌を朗読し、CDに吹き込みをする活動を行うことが出来ました。



15 点訳を通じた視覚障がい者の生活サポートと市民の普及・啓発事業

登別市点訳赤十字奉仕団／60,000円助成

新型コロナの影響により活動時間を縮小しながらも、これまでと変わらず市や社協等様々な団体からの点訳依頼に応じ、視力障がい者に対し、点訳を通じた情報提供を行う他、中途失明者に点字指導等を行うことができました。



16 要介護者を対象とした衣類のリフォーム事業

ハンズ・メイト／37,000円助成

身体に障がいのある方や在宅介護者から相談を受け、衣類を脱ぎ着しやすいよう衣類のリフォームを行うことができました。このような活動を継続して行えるのも寄付者のみなさんのおかげです。ありがとうございました。



17 ノルディックウォーキングを通じた健康推進事業

登別ノルディックウォーキング愛好会／15,000円助成

健康増進を目的に町内会などに無料でインストラクターを派遣して、正しくノルディックウォーキングができるよう指導する活動を行い地域の健康増進に寄与することができました。

寄付者の皆さんありがとうございました。



18 登別小学校区子どもの見守り啓発事業

登別子ども見守りたい／10,000円助成

登別小学校区の地域安全に関する問題点を住民が把握し、地域の防災意識を浸透させることを目的に、広報啓発活動として「かわら版」を発行し、地域全体に対して防災意識の向上・浸透を図ることができました。



④きずなづくりを進めるための多様なネットワークづくりのための取り組み

19 地域における読み聞かせ活動を通しての交流及び子育て支援事業

おはなしりぼん／20,000円助成

中学校の卒業を祝う会や市民活動フェスタに参加し、絵本や大型絵本、パネルシアター、人形劇を用いて読み聞かせを披露することができました。寄付者の皆さんありがとうございました。



20 町内会における助け合い推進事業(ご近所同志の福祉ネットワークづくり推進事業)

登別市連合町内会／100,000円助成

第3期地域福祉実践計画「きずな」の取り組みが地域に浸透していくよう、各小学校区にて福祉座談会や世代間交流等を実施。地域福祉の課題解決を進めていくためのより良い地域での助け合い活動を行いながら地域のきずなを広めることができました。



きずなのまちづくり助成事業を支える 赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金のしくみ

赤い羽根共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ」として、住民の皆さんが自ら進める地域福祉活動を財政面から支援するための募金です。

市内で寄せられる赤い羽根共同募金の一部は、災害発生時に災害ボランティアセンター等の活動を速やかに開始するための積み立てや福祉車両への助成など全道規模で活用され、残る全額は翌年度のきずなのまちづくり助成事業を始めとする登別市内で行われる地域福祉活動への支援として活用されます。

登別や北海道の地域福祉活動を応援するため、皆さんのご協力をお願いいたします。



赤い羽根共同募金のつかいみち

赤い羽根共同募金は「じぶんのまちを良くする」ための活動を支える、大切な取り組みです。
登別市内での赤い羽根共同募金の使いみちについての一例をご紹介します。

つながる、はぐくむ活動に・・・

◆「kizuna&」発行事業

コロナ禍で不安が募る状況下においても、できることを懸命に探し地域福祉活動に向き合っている活動者の皆さんを応援するため、情報誌を通じて広く市民に登別の地域福祉活動を発信しています。



◆登別市地域福祉実践計画「きずな」の策定
地域福祉の推進のために市民が具体的にできることをまとめ登別市地域福祉実践計画「きずな」の策定を行い、地域住民自らが地域の課題と地域福祉の大切さを改めて捉え、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めています。

新たな仕組みへのチャレンジに・・・

◆ボランティアICT強化事業

インターネットを使った福祉施設と地域の交流など、コロナ禍に対応した新たな試みを支援します。



支える、応援する活動に・・・

◆きずなのまちづくり助成事業

「じぶんのまちを良くする」ための地域福祉活動や、ボランティア活動を実施する団体等の事業を応援します。

地域のために日々活動している皆さんを応援するのが共同募金の役割です。
今後生まれる新たな支え合い活動も、共同募金を通じて応援していきましょう。

